

かたの民報

議会版

2008年7月20日
NO. 1438

【発行】
日本共産党
市会議員団
ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田7-44-21
☎894-2835

都市環境福祉常任委員会 下水道使用料値上げ案につき審議 日本共産党は「値上げすべきでない」と主張

継続審議となっていた下水道使用料11.4%値上げ案につき、7月8日の都市環境福祉常任委員会で2回目の審議がおこなわれました。日本共産党は、「市民の暮らしが大変なときに値上げすべきでない」と値上げの中止を求めました。引き続き7月30日の委員会で審議が行われます（傍聴できます）。

下水道建設の借金返済まで
使用料に転嫁すべきでない

【質問】現在、市は下水道の維持管理費の100%と、公債費（下水道建設の借金返済分）の60%を使用料として徴収している。市は、今回の値上げで、さらに公債費の90%を使用料でまかなう計画である。下水道の建設という基盤整備は、税金で行うのが当然だと考えるが、市の考えは。

【答弁】受益者負担の原則から、使用者に費用を負担していただきたい。

【意見】下水道は、いま93%まで普及しており、環境や安全衛生上も重要な公共設備である。下水道建設の借金返

済分まで、これ以上使用料に転嫁すべきでない。

繰入金削減をやめれば、
使用料を上げる必要はない

【質問】市は最近の5年間で、一般会計から下水道会計に4億1千万から7億2千万円を繰り入れて、公債費や赤字の補てんしてきた。市は今後繰入金を削減し、その分を使用料でまかなう計画である。今回使用料を値上げしない場合、どの程度の繰入金が必要なのか。

【答弁】使用料値上げの増収分1億1200万円を繰入予定額に上積みした額が必要となる。（繰入予定額は、H21、23年は毎年約3億3千万円）

【意見】増収分を上積みしても、年間4億4千万円程度で、これまでの繰入額と同程度かそれより低い額である。今後繰入金を削減することなく、これまでと同程度の繰入をおこなえば、使用料を値上げする必要はない。

日本共産党はこの他、下水道使用料の減免制度をつくること、中小企業等に不利な料金体系の見直しなどを求めました。

市民から、値上げの中止を求める署名5892人分が提出される中、委員会では、他会派から「値上げの率をたとえば9%程度に抑えられないか」との意見も出され、引き続き7月30日（10時から）の委員会で審議することになりました。日本共産党は、ひきつづき値上げの中止を求めていきます。



核兵器も戦争もない平和な世界をみんなで作ろう！



平和大行進に 共産党議員団も参加

第5福竜丸の被爆事件を機に「ノーモア・広島ノーモア・長崎」を誓って始まった国民平和大行進は、今年で50周年を迎えました。すべての都道府県と7割をこえる自治体を通過し、毎年世界原水爆禁止大会にむけ10万人以上が参加する国民的な行進となっています。

交野市の行進は7月5日の午後から、寝屋川東部公園（坂野・さらがい議員が参加）で大東市から受け継ぎ、交野市役所（中上議員が参加）での集会後に枚方市にむけ出発しました。沿道のペラペラや車からは、平和を願って手を振る姿もありました。

世界では今なお、2万7千発もの核兵器が貯蔵配備され人類の生存を脅かしています。日本は、原爆投下という悲痛な経験をした国として、また、平和憲法9条を持つ国として、核兵器廃絶にむけた役割を果たすべきです。海外派兵の恒久化や憲法9条改悪を許さず、非核平和な日本を築いていこうではありませんか。